

商業科（簿記）学習指導案

月日	6月2日（月）
時限	6時限

商業科	1年3組	1年3組教室	指導者	山口 吉彦
単元	第11章 商品売買の取引		教科書	新簿記 新訂版
			発行所	実教出版
単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・分記法の復習から3分法による商品売買の記帳方法を理解させる。 ・仕入帳・売上帳・商品有高帳の役割と記帳方法を明らかにし、その記帳の方法に習熟させる。 ・商品有高帳については、先入先出法と移動平均法を理解させる。 			
単元の評価標準	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
	<p>・商品売買取引など個人企業における基本的な取引の記帳は、どのように行うのかについて関心を持ち、自分分から進んでまとめたり、問題演習に取り組もうとする。また、課題の提出などは、期日までに確実にやり、理解できない内容については、自分で調べたり、積極的に質問したりする。</p>	<p>・なぜ、このように仕訳するのか、なぜ、補助簿はどのように記入するのか、補助簿の役割は何かなどについて、考えている。また、資本に関する取引について、資本が計算上の概念であるという点から取引の意味を考えている。</p>	<p>・商品売買取引など個人企業における基本的な取引の仕訳、総勘定元帳への転記、各種補助簿の記入など、取引の記帳に関する基礎的・基本的な技術を身につけ、ビジネス活動を明瞭に表現することができる。</p>	<p>・商品売買取引など個人企業における基本的な取引の構造を理解し、取引の記帳に関する基礎的・基本的な知識を身につけている。また、各種補助簿の役割を理解し、簿記の目的の一つに財産管理があることを理解している。</p>
指導計画	<ul style="list-style-type: none"> ・分記法での決算が終了し、日常の仕訳の学習が開始。前時までに現金・当座預金に関する取引を確認し仕訳を行う。（2時間） ・分記法による商品売買の記帳方法を確認して、3分法との比較を仕訳によってさせ、理解させる。（本時1時間） ・3分法による仕訳を再確認させ、仕入帳・売上帳の役割を理解させ、記帳の方法に習熟させる。（2時間） ・仕入帳・売上帳の復習を行い、商品有高帳の役割（先入先出法・移動平均法）を理解させ、記帳させる。（1時間） 			
本時目標	<ul style="list-style-type: none"> ・分記法と3分法の違いを明確にし、その役割を理解させる。【思考・判断】 ・3分法の記帳方法を明らかにして、習熟させる。【知識・理解】 ・商品売買の利益がどのように算出されるのか、具体的に両者の仕訳を比較させ金額を動かしながら仕訳をさせる。【知識・理解】 ・一連の仕訳が完了したら、問題を解かせる。【技能・表現】 			
準備資料	<ul style="list-style-type: none"> ・簿記ノート：（自作プリント） ・教科書：新簿記 新訂版（実教出版） ・問題集：反復式 簿記問題集 ・電卓：（カシオAZ-25S） 			

商業科（簿記）学習指導案

	指導内容	学習活動	学習形態	時間(分)	指導上の留意点(教師の支援)
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・身だしなみのチェック ・出欠状況の確認 ・前時までの復習 ・本時の解説 	<ul style="list-style-type: none"> ・きちんとした姿勢で立たせる。 ・取引と仕訳の関係を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一斉指導 	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・公平に確認・指導する。 ・こちらに注目しているか注意する。
展開	<ul style="list-style-type: none"> ・商品売買の仕訳を確認する。 ・分記法について 	<ul style="list-style-type: none"> ・発問をして生徒たちをこちらに注目させる。 ・質問に答える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一斉指導 	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・黒板に注目しているか、生徒たちを見ながら説明し、発問する。 ・これまでの仕訳が分記法であったことを理解させる。 【思考・判断】
	<ul style="list-style-type: none"> ・3分法について ①仕入勘定について ②売上勘定について 	<ul style="list-style-type: none"> ・プリントを基に説明し、比較する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一斉授業 作業形式 	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・3分法についての特徴、分記法との比較をさせ、プリントをまとめさせる。 [板書あり] 【思考・判断】 【関心・意欲・態度】
	<ul style="list-style-type: none"> ・仕訳について ①仕入勘定について ②売上勘定について 	<ul style="list-style-type: none"> ・プリントを配布し仕訳の問題を解く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別学習 作業形式 	15分	<ul style="list-style-type: none"> ・机間指導をして、生徒の理解を確認する。 [板書なし] 【技能・表現】
	<ul style="list-style-type: none"> ・解答について ・次回の予告 	<ul style="list-style-type: none"> ・仕訳の問題を解答する。 ・終了した者は次回の授業に目を向ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別学習 作業形式 ・一斉授業 	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・机間指導をして、生徒の理解を確認する。 [板書なし] 【技能・表現】 ・仕入帳・売上帳を見せる。 【思考・判断】 【関心・意欲・態度】
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のまとめ 分記法と3分法の違いについて、もう一度確認する。 商品売買益の算出の仕方を再度確認する。 ・次回の予告 3分法の仕訳が理解できたところで、帳簿への記帳方法を行うことを告げる。 				
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・分記法と3分法の違いを商品売買益の算出の仕方で理解できたか。 ・3分法の仕訳を反復することができ、理解できたか。 				